

所 属	総合企画部観光交流推進局 観光・ブランド振興課					
担当(係)名	観光・ブランド戦略担当	内線	3074	誘客宣伝担当	内線	3076

新 「ぎふウェルネス・ツーリズム」の創出

1 事業費	【財源内訳】	【主な使途】
3,400	一般財源 3,400	委託料 2,495 (実証実験ツアー、地域メニュー開発)
(前年度 0)		

2 背景・現状

本県を訪れる観光客数は年々増加しているものの、宿泊観光客は減少傾向、観光消費額はほぼ横ばいの状況にあり、長期化する経済不況の中、更に宿泊客の低迷が懸念される。また、全国的にも国内旅行の宿泊者数が減少している中で、観光先、宿泊先として岐阜県を選択してもらえようような動機づけの強化が必要である。

3 事業目的

県内の宿泊施設等の販売力の強化に向けたPR展開とともに、今後さらに宿泊増加につながる“岐阜県ならではの”の新たな旅の領域・分野を開拓、確立し、観光消費額の拡大につながる宿泊旅行の増加を図る。

4 事業概要

素晴らしい大地の恵みによって生かされている岐阜県の観光資源を象徴する、地球に優しい岐阜県ならではの新たな宿泊型旅スタイルとして、環境・健康・自然・癒しなどをキーワードとした、ニューツーリズム「ぎふウェルネス・ツーリズム」の創出を図るため、調査研究を行うとともに、体験メニューの開発など、受入体制の整備を進める。

(1) 「ぎふウェルネス・ツーリズム」創出に向けた調査研究

- ・環境、健康、自然、食等の専門家で構成するワーキンググループを設置し、「ぎふウェルネス・ツーリズム」の創出に向けた調査や実証実験ツアーを実施。

(2) 「ぎふウェルネス・ツーリズム」アクションプラン

- “ONE MORE STAY, ONE MORE TREE”プロジェクトの推進
ウェルネス・ツーリズムによる魅力ある観光地づくり
- ・岐阜の宝もの「小坂の滝めぐり」をウェルネス・ツーリズムの中心地として、周辺の下呂温泉等の地域資源と連携し、地域と一体になって宿泊を伴う長期滞在・着地型メニューの開発、旅行商品化に向けた取組を実施。
ウェルネス・ツーリズムのイメージ戦略の推進
- ・岐阜県を訪れる観光客が排出する温室効果ガスを、県内で実施する環境配慮型プロジェクトでカーボンオフセットできる仕組みなど、新たな環境配慮型の観光システム構築に向けた調査を実施。

(款) 7 商工費	(項) 2 観光費	(目) (2) 観光開発費
(明細書事業名)	観光対策費	
ぎふウェルネス・ツーリズム創出事業費		